

「また逢う日まで」という歌を40歳以上で知らない人はいない。と喋っていたら、20歳の女子学生が「私も歌えますよ、尾崎紀世彦さんでしょ」と当然の顔で言う。最近の70・80年代のヒット曲のカバーブームは知っていたが、この曲は他の誰もがカバーして歌えるというものではない。聞くと、両親がCDでかけていたり、カラオケで聴いたり、けっこう若い人たちにも歌い継がれているらしい。「いい曲だもの」と彼女はけろりんとした顔でハミングする。成程名曲とはこうしてスタンダードになって行く。

そんな名曲がこの「タンゴモデルナVOL.4」で新たにタンゴとして誕生する。まさにこの企画ならではの異種遭遇の醍醐味だ。前回のモデルナVOL.3では宮沢和史さん（THE BOOM）の「鳥唄」が門奈さんの編曲により見事なタンゴとなり、感動的とも言えるステージを実現した。VOL.2ではミュージカル女優の大浦みずきさん、ロックミュージシャンのKONTAがピアノを魅力的に歌い上げた。VOL.1での、東京スカパラダイスオーケストラとの、ピアノ楽曲スカパラ楽曲の共演は、この企画のスタートにふさわしい刺激的な、そして圧巻のステージだった。そのどれもに心地よい緊張感が漂うのは、演者のチャレンジへの心意気がこちらに伝わる故だろう。そういうステージに出会える機会は、はっきり言ってそうはない。

タンゴがブームと言われながらも、もうひとつ広がりがないのは観客の年代が限られる所以だろう。新しいものに対して根っからのタンゴファンに拒否反応があるのは、ピアノのブレイク前を見ても明らかだが、モデルナの新鮮さは、斬新に名曲を見直す、世代を超えての感動だ。

今回VOL.4では、尾崎さんという希有な声量と技量とスター性を持つ大ベテランが、これまでの得意とするジャンル（ジャズ、ウエスタン、ハワイアン）

から離れ、初めてタンゴというジャンルに果敢にチャレンジする。「また逢う日まで」とともに楽しみなのが、本邦初公開「トライシオン〜背信」。これもアストロリコの演奏、尾崎さんの唄ならではの、タンゴの名曲になるだろう。

もちろんアルゼンチンやスペインが絶賛したアストロリコのピアノ演奏もたっぷり楽しめる。それも400人限定という濃密な空間でこんな贅沢な時間もモデルナならではの新鮮さである。



筑紫哲也
(ASTRORICO題字も)

ASTRORICO (アストロリコ)

わが国屈指の名バンドネオン奏者である門奈紀生を中心に、'91年に結成。'92年4月に京都でデビュー以来、アルゼンチンをはじめ、南米・ヨーロッパ・中国など世界各地でコンサートツアーを行い、'95年にはスペイン・グラナダ国際タンゴフェスティバルに日本人として史上初の招聘出演。さらに第2回・第3回・第5回タンゴ世界サミットでも日本代表として招聘され満場の客席を魅了し総立ちにさせた。『タンゴ新世紀の旗手』と称させる独創的・意欲的活動を広く国内外で展開中。

'98年8月東京デビューコンサート「タンゴモデルナVOL.1」(YEBISUザ・ガーデンホール)'01年12月、10周年記念コンサートツアースタート。'02年11月、10周年記念アルバム発売。'02年12月、10周年記念東京特別公演「タンゴモデルナVOL.3」(サントリー小ホール)

「ASTRORICOは驚異的な偉業を成しとげた日本人グループだ」
スペイン/ジャー紙

「これこそタンゴ!アストロリコの素晴らしいタンゴは、聴く人への教えとなり、最高の質である」
アメリカ/タンゴ・リポーター(タンゴ専門誌)

「ブエノスアイレスは曇り空が似合う。そして夜が似合う。
タンゴが放つあの強い情熱の影には、孤独、無常、悲哀が込められているからだろうか。
アストロリコのタンゴにはほほえみも似合う。そしてきっと青空も似合う。音楽は生き方そのものなのだ
アストロリコのみなさんにお会いする度にそう思う。」
タンゴモデルナVOL.3 ゲスト THE BOOM 宮沢和史

3/18 (thu) 18:30開場 19:00開演
3/19 (fri) 14:30開場 15:00開演
3/19 (fri) 18:30開場 19:00開演
(19日のみ18:40より筑紫哲也氏のプレトークあり)

料金 前売り¥6,000(全席指定・税込み)
当日¥7,000

企画・構成・プロデュース:まあくまさこ
制作・お問い合わせ:MARK&I
TEL.03-3464-0761
FAX.03-3464-2706
E-mail:mark@broad-web.com

チケット取り扱い
マーク・アイ TEL.03-3464-0761
チケットぴあ TEL.05-7002-9999
サントリーホール・チケットセンター
TEL.03-3584-9999